

平成26年7月25日発行・発売 (毎月25日発行・発売)
第43巻・第9号・通算504号 昭和50年7月2日第三種郵便物認可

ラグビーマガジン

Rugby magazine

9

SEP. 2014
No. 504

「テストマッチ10連勝は本物」が。進撃の

ジャパン

人物往来2014

横山健一・伸一「日本IBMビッグブルー」

仲松美勇士・クリシユナ「パナソニックワイルドナイツ」

高山国哲 & 福坪龍一郎「宗像サニックスブルース」

インタビュー▼エディー・ジョーンズヘッドコーチ
クローズアップ▼山田章仁「魅力から威力へ」
フットーカスオンスクラム▼畠山健介、三上正貴、真壁伸弥
トピック▼記者座談会

アシックスカップ2014
第1回全国高校7人制大会レポート

スペシャルインタビュー
チェスター・ウィリアムズ「元南アフリカ代表WTB」

特別定価 **990円**
ベースボールマガジン社
<http://www.bm-japan.com>





男のエステ
ダンディハウス
PRESENTS
www.beachrugby.jp

B-1 プレミアム
PREMIUM

BEACH RUGBY JAPAN TOUR 2014



駆けるDENKO、勢い止まらず。 BUSAIKUはレディース4連覇達成。

6月上旬の第1ラウンド・東海大会の開幕から早くも1か月あまりが経過し、2014年のジャパンツアーが急速に熱を帯びてきた。注目のB-1プレミアムは、開幕戦を制した昨年の全国チャンピオン、DENKO MACが南紀白浜大会で連勝を飾るなど、順調な仕上がりをアピール。レディースでは昨シーズン失った女王の座の奪還に燃えるBUSAIKUが、圧倒的な強さを誇示して快調に勝利を重ねている。ビーチラグビーの聖地・平塚で7月27日に行われる最終決戦まであと少し。毎週各地で繰り広げられる熱戦の様相を徹底リポート!

ROUND 3
第19回 南紀白浜大会
6/28(土)・29(日) 和歌山県白浜町・白良浜海水浴場

安定した強さを発揮して2連勝を飾ったDENKO MAC。ボール保持者がうまく相手を引きつけてスペースを生み出すなど、本大会でも試合運びのうまさが見えた

25th Anniversary
Go Future
Next Generation



早くも独走態勢のBUSAIKU。牙城を崩すチームは現れるか

決勝では敗れたものの、懸命に食い下がったteam LUCE。こちらも全国出場権をゲット



チャンスを作り出しながらもあと一歩が遠かったteam ZERO。ただしDENKOがすでに全国大会出場を決めているため、全国出場権は手にした

主催：国際ビーチラグビー協会
共催：ビーチラグビー白浜大会実行委員会 / 和歌山県ビーチラグビー協会
後援：白浜町 / 白浜町教育委員会 / 白浜観光協会 / 白良温泉旅館協同組合 / 白浜町商工会 / JACR / 和歌山県ラグビー協会

OFFICIAL STAFF WEAR
株式会社ドーム



美しい風景、純白のビーチといった絶好のロケーションから、ジャパンツアーの中でも屈指の人気を誇る南紀白浜大会。今年も募集開始早々に規定数に達するなど各地から多くのチームが白良浜海水浴場に詰めかけ、試合に、さらには様々なアトラクションに、大きな歓声が上がった。

梅雨のまっただ中にも関わらず2日も好天に恵まれ、順調にスケジュールが進む中、B-1プレミアム準決勝ではまず強豪team ZEROと、今季よりB-1に参戦するマジックマッシュが対戦。前半は一進一退の展開が続き、エキストラポイントの差でteam ZEROが8-7とわずかに先行して折り返し。後半、さらにZEROはボールキャリア以外の4人がすべて前に上がる思い切った仕掛けからフロントパスを決めてトライを加え、12-7で振り切って決勝へ進んだ。

もうひとつの準決勝では、開幕戦の東海大会を制した昨年の全国王者・DENKO MACに、第1試合で敗れたもののワイルドカードとして復活のマジックマッシュが挑戦。DENKOは開始早々に得意の緩急を利かせた攻撃からトライを奪うと、その後も順調にトライを追加。12-3で勝利して2大会連続の決勝進出を決めた。

同じ関西ベースのチームにして普段から練習などで頻りに顔を合わせており、手の内を知り尽くす両者の激突となった決勝戦。まず

は前半風上のDENKOが左右にボールをつないで相手ディフェンスを揺さぶり、フリーで抜け出した選手へフロントパスを通して先制トライを奪う。その後はともにチャンスを作るもののあと1本が繋がらず、3-0でハーフタイムを迎えた。

後半も先にスコアしたのはDENKO。敵陣中央から左右に振ってオーバーラップを作り、最後はきれいにショートフロントパスを決めて中央にトライを挙げる。これで7-0に。粘るZEROも残り1分を切ったところで相手のミスに乗じて速攻を仕掛け、1トライを返したが、直後にフルタイム。7-4でDENKO MACが2連勝を飾った。

またレディース決勝では大会4連覇を目指すBUSAIKUと、地元のteam LUCEが対戦。豊富な経験と組織力を誇るBUSAIKUは、ディフェンスでプレッシャーをかけて終始敵陣で試合を進める得意の形で前半2トライを奪い、8-0でハーフタイムを迎える。後半は追加点こそなかったものの、余裕を持って試合をコントロール。そのままフルタイムとなり、こちらもツアー2勝目を手にした。

なお大会中は恒例のベストドレッサーコンテストや梅干しの種飛ばし大会、じゃんけん大会など、数々のイベントも実施された。白浜商工会青年部から1000人分のかき氷も無料でふるまわれ、集まった多くの人々が充実した時間を過ごす2日間となった。



2015年わかやま国体のマスコットキャラクター「きいちゃん」が参加してのじゃんけん大会も。なお同大会ではビーチラグビーがデモ競技として行われることが決まっている



B2トーナメントは地元和歌山のBE@RSがVトライの延長戦の末にぐらびあいを破り優勝

地元商工会青年部から無料のかき氷がふるまわれた

▶B-1 PREMIUM

DENKO MAC	18
帝塚山大学ラグビー部BK	0
KID-RFC	4
マジックマッシュ	8
SAINTS	4
team ZERO	8

▶LADY'S TOURNAMENT

BUSAIKU	12
あんらーちえでっかるちえ	0
Team 梅っssh7	4
和夏	4
小倉睦幼稚園	0
マジックエリンギ	13
Lady Unlache	6
ひまわりふく	0
オレンジモンキーズ	0
team LUCE	18
MORO☆Q	0
smile	0



オーバー40ビーチフラッグ大会の様子

キッズ部門では近鉄ライナーズの選手たちによるチーム「アンドーズ」と子どもたちが対戦する一幕も

B-1プレミアム・優勝 DENKO MAC (京都府)

B-1プレミアム・準優勝 team ZERO (兵庫県)

レディース・優勝 BUSAIKU (神奈川県)

レディース・準優勝 team LUCE (大阪府)

OVER35優勝 びわ湖連合(滋賀県)



【男子】門中博昭選手 (DENKO MAC / 左)
【女子】前橋布貴子選手 (BUSAIKU)